

# 山梨大学の特別教育プログラム名称の改定

資料2

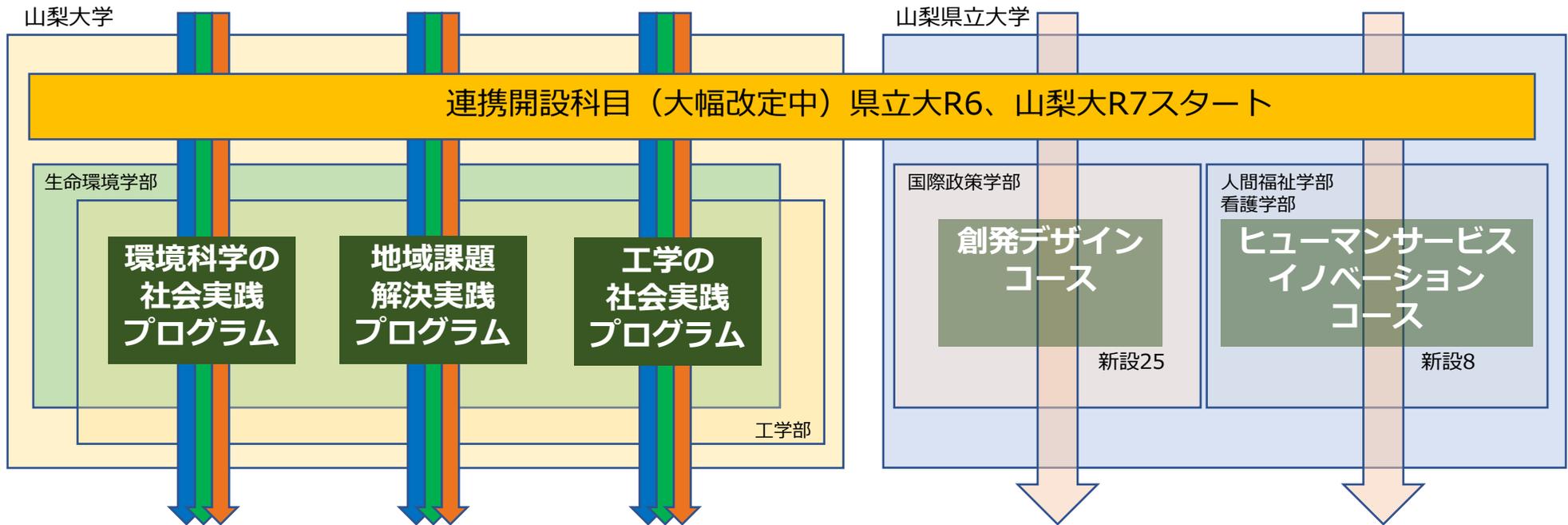
申請時

- 環境科学科教育プログラム
- 社会システム学科教育プログラム
- 工学部教育プログラム

→  
→  
→

改定したプログラム名

- 環境科学の社会実践プログラム
- 地域課題解決実践プログラム
- 工学の社会実践プログラム



感染症や自然災害に対し、公共政策的視点で課題を解決する人材  
地域の特色や産業から、新たな価値創造に繋げる事業を展開できる人材  
福祉・介護・環境・教育の充実・整備を図り、男女共同参画社会・多様性のある共生社会を構築できる人材

# 山梨大学3プログラムに共通する教育の特徴

## プラットフォーム等※から求められる人材像

※地域プラットフォーム全体会議、  
教育プログラム検討部会、経営者意識調査

新しい価値創造、発想力や想像力

傾聴力、対話力、学び続ける姿勢

学生が自己実現できるような場、学修者視点

山梨の理解、地元愛

何かの分野で強く、課題解決を支援できる人材

DXへの対応など新しい仕事に対応できる人材

社会課題を自分でなんとかしようという  
アントレ精神

## SPARCで展開するカリキュラム

### ①自由に思考し続ける力

卒業後も生きるリベラルアーツ（観察力・論理的分析力、自他理解力、表現力・対話力、情報選択・活用技術、キャリア形成力）

### ②(自然と)社会の複雑さを認識する力

広い視野と柔軟な発想（地域理解力、社会理解力、実技、当事者意識）

### ③学びの往復を実践する力

地域PBLによる試行錯誤と自己強化（課題発見力・動機獲得力、継続性・協働力・探求力、構想力）

- ・ **文理横断**教育の増強で汎用的能力を養成
- ・ **社会実装**を意識することにより学びの定着と**複層的**理解を促進
- ・ 卒論プロセスを全体化するPBLで**思考**、**俯瞰**、**実践**を往復し、課題発見・動機獲得・探求・協働・表現・構想を通じて主体性、越境性、対話力を醸成
- ・ 地域PBL科目を通じた**山梨の課題**理解、**地元愛**の育成
- ・ アントレ教育による**価値創造**と**自己実現**

# 環境科学の社会実践プログラム

主幹：山梨大学生命環境学部  
環境科学科

## 育成する人物像

申請時：「感染症や自然災害に対し、公共政策的視点で課題を解決する人材」  
「地域の特色や産業から、新たな価値創造に繋げる事業を展開できる人材」

プラットフォーム等からの要望<3プログラム共通>  
地域プラットフォーム全体会議, 教育プログラム検討部会, 経営者意識調査

プログラム側の分析  
□ 山梨には自然、特産品、公共施設、人的関係などの地域資源が豊富  
□ これらを活かした地場産業や全体調整の担い手が不足

主な就職先の実績  
□ 地方公務員  
□ 環境系企業（主に県外）

## 具体的な人材像

- 環境破壊や自然災害による**恩恵の喪失を減らす**ことができる人材
- 風土に根ざした**持続的な農林水産業の提案**や**住空間を創出**できる人材

## 想定される職種

自伐型林業, 農林複合経営, 内水面養殖, バイオマス転換コンサル, 地産地消ブランディング, Deep & slow ツーリズム, コモンズ経営, 企画行政 (スーパー公務員)

## 育成するためのカリキュラム

外部協力者・先進地

**地域PBL**：環境科学地域PBL実習・演習, フューチャーサーチ, ネイチャーガイド演習, 事業づくり実践演習…

**文理横断**：創発PBL, 人の生活基盤, ライフデザイン, AI・デジタル利活用リテラシ, 生と幸福, 環境論, …



**地域学**：地球科学, 富士山学, 地域共生デザイン, 共生社会論, 事業づくりの技法…

県立大

**アントレ**：ビジネス共創実践…

## <本プログラムの特徴>

- 自然管理・保全系科目に**社会科学系**科目をさらに追加して**文理横断**教育を補強
- PBL科目：既設16単位に加えて新設14単位（うち**地域PBL**が10単位）

## <現状での課題>

- 大学院修了生の就職先分析
- 地域資源活用に関する県内自治体からの聞き取り
- 地域PBL受け入れ先の確保

# 地域課題解決実践プログラム

主幹：山梨大学生命環境学部  
地域社会システム学科

## 育成する人物像

申請時：「福祉・介護・環境・教育の充実・整備を図り、男女共同参画社会・多様性のある共生社会を構築できる人材」  
「地域の特色や産業から、新たな価値創造に繋げる事業を展開できる人材」

プラットフォーム等からの要望<3プログラム共通>  
地域プラットフォーム全体会議, 教育プログラム検討部会, 経営者意識調査

### プログラム側の分析

- 将来を見据えて文理横断型公務サービスが必要
- 先の見通しにくい時代における新たな仕事の発見・創出が必要

### 主な就職先の実績

- 地方公務員
- 金融
- IT

## 具体的な人材像

- ・さまざまな現場での学びを積み重ねることで**地方創生の新たな姿**を探っていくことのできる人
- ・ポスト・コロナにおけるさまざまな地域課題を俯瞰し多様性に満ちた**共生社会の構築**に取り組むことのできる人

## 想定される職種

- ・公務員、コンサル（更なる人口減少やインフラの劣化を見据えてAIやロボティクスを駆使したスマート自治体への転換を企画立案）
- ・銀行、会計事務所（地元顧客企業の金融・財務活動を支援）
- ・社会起業家（県民一人一人が豊かさを実感できる共生社会に向かうために課題を発見しソーシャルビジネスで解決）

## 育成するためのカリキュラム

外部協力者・先進地

**地域PBL**：地域PBL演習, フューチャーサーチ, 地域社会システム学演習…

学びの往復を  
実践する力

自由に**思考**  
し続ける力

課題解決

社会の  
**複雑さ**  
を認識する力

進取で果敢

**文理横断**：  
創発PBL, AIデジタル  
利活用リテラシ

**地域学**：  
富士山学, 地域共生デ  
ザイン…

県立大

**アントレ**：ビジネス共創実践…

### <本プログラムの特徴>

- ・DX系科目の追加による**文理横断**教育の増強
- ・新設PBL科目（14単位）の履修を通じて学科専門科目の学修意欲を向上

### <現状での課題>

- ・自治体からの聞き取り調査
- ・既存の地域PBL科目（フューチャーサーチ等）との連携方策の検討

# 工学の社会実践プログラム

主幹：山梨大学工学部工学科

## 育成する人物像

申請時：地域の社会的課題を探求し、工学（技術）により課題を解決する人材

プラットフォーム等からの要望<3プログラム共通>  
地域プラットフォーム全体会議, 教育プログラム検討部会, 経営者意識調査

プログラム側の分析

- 経営的視点を有した工学系人材
- 社会的課題について、思考し続けられる
- 社会的課題解決に真摯に取り組める

主な就職先の実績

- 製造業
- 技術系地方公務員
- 地域コンサルタント

### 具体的な人材像

高度に進化(深化)した工学(技術)を身に付け、  
**複雑化する現代の地域社会問題を解決**できる人材

### 想定される職種

- ・ 製造業（経営・経済的知識も有し地域貢献できる人材）
- ・ 情報通信業（デジタル社会をリードできる人材）
- ・ 公務員、コンサルタント（地域の課題解決）

## 育成するためのカリキュラム

自由な思考の継続力・工学〔技術〕の修得および探究

ライフスキル, 学術科目, 創発PBL, STEAM科目, 基幹履修科目

地域

地域の抱える社会的課題  
[地域プラットフォーム]

PBL  
地域リーダー養成  
特別演習・実習

- ・ 地域産業・地域人材との交流
- ・ 地域の課題探求

～地域と大学の懸橋に～  
自由な思考  
社会の認識  
実践力

PBL  
キャリア形成実習  
(SPARCハウス(仮)設置)

- ・ 教員と学生間および学生間の交流
- ・ 研究的素養の修得
- ・ 課題解決の真剣討議

大学(ラボ)  
高度に進化(深化)した工学〔技術〕  
[大学教職員]

社会の複雑さの認識  
他学部科目, 連携開設科目(県立大), アントレ系科目(県立大)

<本プログラムの特徴>

- ・ 社会と科学技術 + 他学部科目・連携科目
- ・ PBL：地域リーダー特別演習・実習(新設4単位)に加えてキャリア形成実習(既設4単位)

<現状での課題>

- ・ 地域経済団体との連携
- ・ PBL科目の具体化(既存科目との連携)